

ふるさと便り

―「上越タイムス」の記事より―

高田城百万人観桜会（四月）

第八十五回高田公園の百万人観桜会は、一週間遅れの十八日最高の盛り上がりを見せた。夕刻には「万燈御輿」が登場、極楽橋を渡って公園内を渡り観桜会はクライマックスを迎えた。



会津墓地に慰霊の訪問（四月）

金谷山の「会津墓地」には、戊辰戦争で敗れ高田藩にお預けの身となり命を落とした会津藩氏ら、白虎隊を含む六十八人が眠っている。会津若松市長を含む訪問団の一行百五人が墓地を訪れた。



レルヒ少佐の親族が上越訪問（四月）
日本に初めてスキーを紹介したレルヒ少佐の親族が上越市を訪問、金谷山やスキー発祥記念館を見学し資料の保存と行き届いた施設に感動していた。



大和、三十四年の歴史に幕（四月）

昭和五十年七月のオープン以来、市民に親しまれていた本町四丁目の上越店が惜しまれながら二十五日閉店した。午後六時の閉店時には全従業員が正面入り口に整列。店長の感謝と閉店の言葉、陸上自衛隊・音楽隊と城西中吹奏楽部による「蛍の光」演奏の中、シャッターがゆっくり降ろされた。



芸妓の舞とお花見会席を楽しむ会（四月）
仲町二丁目の「やすね」で、新潟市の古町芸妓が、日本髪に振り袖、留め袖姿で三味線に合わせて、あでやかな踊りを披露した。



タンチョウ二羽飛来(四月)

二十六年ぶりに、二羽のタンチョウ鶴が大潟区浜江と関川左岸の田んぼに現れた。中国北部や朝鮮半島から舞い込む例はあるようだが、北海道から南下した可能性が高い。



アカマンボウを発見(四月)

日本海側ではあまり見られない、鮮やかな朱色のアカマンボウが、糸魚川沖で捕獲された。アカマンボウは別名マンダイ。マンボウに似た体型だが異種である。



川釣りの季節到来 ニジマス釣り大会(五月)

妙高市関川町の関川橋上流で、春の「ニジマス放流釣り大会」が開催された。好天に恵まれ、妙高山を眺めながらの大会であった。



上越にスミレ咲く(五月)

昔、田んぼのあぜ道や川岸に沢山咲いていたスミレはめっきり少なくなりました。三和区の丘の道に五十メートルも続く花の行列を見付けました。

一茶の句に「葦咲く川を飛び越す美人哉」



「上越野菜」認証マーク(五月)

「上越野菜」をPRしようと、上杉謙信をモチーフにした認証マークが誕生した。「高田シロウリ」を謙信のずきん、「とうな」「オータムポエム」を軍配、曲がりネギを刀に見立て、背景に「なす」や「みょうが」もある。



「霜風」が幕内六年ぶりの二けた白星(五月)

郷土の力士「霜風」が、五月場所で十勝五敗の好成績。千秋楽「隠岐の海」との一戦、最初の一番は胴体で取り直しの、取り直しの一番は右四つとなり、右からのすくい投げで豪快に決めた。



経営哲学を講演(五月)

Jネット初代会長であり、WOWOW相談役の佐久間昇二さんによる講演が、上越青年会議所のオリエンテーション委員会であった。講演では「ふるさと」上越にも言及、次代の上越を担うメンバーに「若い人に元気がない」と発破。産品や観光資源のブラッシング(磨き上げ)と情報発信の強化をアドバイス。さらに北陸新幹線開業を契機に企業誘致と人的交流を積極的に進めるように説いた。



G A C K T 謙信登場予定 (五月)

八月の謙信公祭にG A C K T 謙信が予定された。大河ドラマ「風林火山」で人氣を博したG A C K T さんの謙信公祭への出陣は二年ぶり三回目となる。



榊原文書を解説養成講座 (六月)

高田図書館は所蔵する旧高田藩榊原家の藩政日記を解説するボランティア養成講座を開講した。榊原文書藩政日記は約千百冊。平成十二年から修復が行われ、昨年度まで約百二十五冊が完了した。講座はくずし字解説の基礎を学ぶ初級四年と中級三年コース。



二頭のイルカ到着 (六月)

水族博物館でイルカショーにデビューするメス二頭が、沼津市三津から元気な姿でやってきた。イルカショーは七月十七日から八月二十二日まで開かれる。



つちのこ探検隊に百人参加 (六月)

「伝説の生きものを捕まえて一億円をゲットしよう」を合い言葉に、全国から集まった探検隊は糸魚川市のシャルマン火打スキー場西側一帯で行われた。残念ながら今年も発見できなかった。参加者には心づくしの山菜料理が振る舞われた。

ホタルのお宿 (六月)

上越ホタルの会は金谷山にホタルを呼び戻そうと、金谷山公園をホタルの里として整備しています。ホタルの自然繁殖を目指して、水路の整備や棚田の復元、水芭蕉の移植など金谷山を本来の姿に戻すことよって、徐々にホタルの数が増えました。また「学習施設ほたるの宿」を設置して、地域の子供学習にも力を入れております。夜間特別公開は金谷山公園ボブスレー乗り場横で開催された。



眠る資源メタンハイドレート (六月)

上越沖の日本海に眠る資源「メタンハイドレート」は二〇〇三年に発見され、東京大学のグループを中心に研究が進んでおります。直江津沖と北海道奥尻沖を調査するためフランス籍の「マリオン・ドフレイヌ号」が直江津港に入港した。メタンハイドレートは、海底の表面や地中に存在する水状ガスで、気化することで天然ガス同様の利用が可能な資源。村山市長等が出迎え歓迎した。



お諏訪さんの大ケヤキを守ろう

(六月)

稲田の諏訪神社に聳える樹齢八百年の大ケヤキを保存手入れする活動が、隣接する稲田小学校の生徒と保存会が、樹木の指導で地中に棒状固形肥料を埋め込んだ。幹の太さも約十メートルと測定。



豪農の館・林富水邸の屋根のふき替え

(六月)

三和区神田にある上越市指定文化財「豪農の館・林富水邸のかやぶき屋根のふき替え」が十年ぶりに行われた。今年は大雪や天候不順のためかやの手に苦勞、地元を始め中ノ保、桑取地区からも集めた。



「上越弁」のCD完成

(六月)

おじちゃんおばあちゃんが喋っていた昔懐かしい「上越弁」のCDが完成した。消えつつある高田の方言を音にまとめた一枚である。タイトルは「おまんたえますぐ使える えつちよまえの上越弁」。朝の食卓や酒場での会話、正月、運動会、朝市での会話などが録音されており、むかしの情景や記憶がよみがえってくる。二枚組で二千円、八月からの販売である。



お引き上げにきわう 柿崎区 (六月)

柿崎区の浄善寺、浄福寺の報恩講お引き上げが開かれ、昔と変わらぬ賑わいと風情を見せていた。



加藤福子さんがコンサートを企画

「ネット会員の加藤福子さんが浄興寺での秋のコンサート「PASSION」を企画しました。

永井由里さんのヴァイオリン、水月恵美子さんのピアノ演奏です。

日時 平成二十二年十月三日十四時
場所 本山浄興寺本堂(上越市寺町)
料金 一般・三千円(前売り)
お問合せ 〇四・七二八八・七七五二

TEL: 025-222-1111 FAX: 025-222-1112

〒950-0001 新潟県上越市上越1-1-1

TEL: 025-222-1111 FAX: 025-222-1112

〒950-0001 新潟県上越市上越1-1-1

TEL: 025-222-1111 FAX: 025-222-1112

〒950-0001 新潟県上越市上越1-1-1

PASSION

ヴァイオリン 永井由里
ピアノ 水月恵美子

2010年10月3日
新潟県上越市
浄興寺本堂